

花ちゃん、オー君、モンタ博士のわくわくドキドキ冒険記3

国立市立国立第七小学校

平成27年11月13日 NO.65 (265)

モンタ博士「不思議だな。不思議だな。」

まったくもって不思議なのだ。」

オー君 「モンタ博士！どうしたのですか。」

花ちゃん 「さっきから、不思議だなの連発ですね。」

モンタ博士「本当に不思議なのだ。よく観察したり、

じっくりと見てもわからない。

考えても考えてもまったくわからない。」

オー君 「何がどうしたのですか。」

花ちゃん 「何がそんなに不思議なのですか。わたしたちにも教えて下さい。」

モンタ博士「ほら！よく見てごらんよ。この前、レンゲソウやナノハナの種をみんなにあげたでしょ。その種を今よく見て、考えているのさ。モンタ博士が不思議に思うのはね、こんな小さな種のどこに、あんなにきれいな花を咲かせるものがあるのかなと考えているのさ。」

オー君 「そういえばそうですね。不思議ですね。」

花ちゃん 「そういえば、小さな種からたくさんの花を咲かせるのも不思議ですね。」

モンタ博士「下に種の写真と花の写真を並べてみたから、みんなで考えよう！」

花ちゃん 「そういえば、種ってどれもみんな小さいですね。」

オー君 「それから、種ってどれもみんな黒っぽいですね。」

モンタ博士「そうだろう。考えれば考えるほどわからないこと、不思議なことばかりだ。

いろいろと自分なりに考えてみるといいよ。それから、ただ1つ



レンゲソウ



ナノハナ

いえることは、こんなちい小さなたね種なかの中に、たくさんのはな花さを咲かせる
大きな大きな生命のもとがかく隠されているということだね。」

花ちゃん 「ほんとう本当にそうですね。これからいろいろとかんが考えていきたいと思います。とこ
ろで、した下のしゃしん写真なには何をしているところですか。」



オー君 「あ！これはサクラソウのなえ苗うを植えているところですね。」

モンタ博士「そのとおりだね。このサクラソウの種はもっともっと小さいんだ。9月の始め
に種をまいて、これまで大きな苗にするのに2か月もかかったのさ。でも、種
の生命力はすごいね、こんなに立派な苗になるんだから。」

花ちゃん 「今年、国立七小では、全校児童で苗を育てるんですね。」

モンタ博士「そうだよ。今から水やりやれば、2月から3月ころ、卒業式のころには
学校中がきれいなピンクのサクラソウの花でいっぱいになるよ。」

オー君 「花いっぱいの学校っていいですね。」

花ちゃん 「みんなで楽しみにしていきましょう。」

モンタ博士「そこで、モンタ博士は、またかえ歌を作ったんだ。こんなのどうかな。

♪ありがとう ありがとう ありがとう 花のたねをありがとう♪

♪の歌をかえ歌にして

♪うえましょう うえましょう うえましょう

♪サクラソウの苗をうえましょう♪

♪とか、どうかな？」

